さまざまなシーンを選んで撮影する(ベストショットモード)

21種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、自動的にそのシーンに最適な設定になります。

■シーンのサンプル画像例

• 人物を写す

• 風景を写す

• 夜景を写す

• 人物と夜景を写す

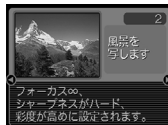
1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“BS ベストショット”を選び、【SET】を押します。

- ベストショットモードになり、シーンのサンプル画像が表示されます。

4. 【◀】【▶】で撮影したいシーンを選び、【SET】を押します。

5. 撮影します。

重要!

- No.4のシーンについては「カップリングショット」(60ページ)、No.5のシーンについては「プリショット」(62ページ)をご覧ください。
- シーンに使用されているサンプル画像は本機で撮影されたものではありません。イメージ画像です。
- 被写体の条件によっては、充分な効果が得られなかったり、正しく撮影されない場合があります。
- シーンを選んだ後から【SET】を押すことにより、シーンを選び直すことができます。
- 選んだシーンの各種設定内容は変更することができますが、シーンを選び直したり、電源を入れ直すと、設定内容は初期状態に戻ります。
- 夜景や花火のシーンなどシャッター速度が遅くなる撮影では、撮影した画像にノイズが発生するため、自動的にノイズ低減処理を行っています。このノイズ低減処理のために、撮影が終了するまでの時間がシャッター速度に比べて長くなります。その間はキー操作を行わないでください。
- キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】で撮影モードをベストショットモードに切り替えることができます(71ページ)。

参考

- ベストショットモードで電源を入れたとき、または【◀】【▶】で撮影モードをベストショットモードに切り替えたとき、約2秒間、操作ガイドと現在選ばれているシーンのサンプル画像が表示されます。

撮影したいシーンを登録する(カスタム登録)

今まで撮影した画像の設定内容をベストショットモードに読み込んで、呼び出すことができます。呼び出した画像の設定内容と同じ設定で撮影することができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“BS ベストショット”を選び、【SET】を押します。

- シーンのサンプル画像が表示されます。

4. 【◀】【▶】を押して“新規登録”を表示させます。

5. 【SET】を押します。

6. 【◀】【▶】を押して読み込む画像を選びます。

7. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押します。

- 登録が完了します。
- 撮影できる状態になります。以降、57ページと同じ操作により、この設定を選んで撮影することができます。

重要!

- デジタルカメラでは、本機内蔵のシーンのあとに「マイベストショット(カスタム登録したシーン)」の順番でシーンが登録されます。
- 内蔵メモリーをフォーマット(104ページ)すると、カスタム登録したベストショットモードのシーンファイルは消えてしまいますので、その場合は必要に応じてカスタム登録し直してください。

参考

- 登録される設定内容は下記の通りです。
  フォーカスモード、EVシフト、ホワイトバランス、フラッシュモード、ISO感度
- 本機で撮影された画像からのみ設定内容を読み取ることができます。
- 登録可能件数は最大999件となります。
- 各シーンの設定状態はメニューをたどり、各機能の設定内容を表示させることにより、確認できます。
- カスタム登録したシーンのファイル名は、EX-Z30では「UEZ30nnn.JPE (n=0～9)」と、EX-Z40では「UEZ40nnn.JPE (n=0～9)」となります。
- カスタム登録したシーンを消去したい場合は、ベストショットモードでシーンを選ぶときに、カスタム登録したシーンを表示させ、【▼】(⚡ 🗑)を押して削除するか、パソコンを使って内蔵メモリー内の「SCENE」フォルダ内から消去したいシーンのファイルを削除してください(129ページ)。

二人で記念撮影をする(カップリングショット)

一画面を2つに分けて2回撮影し、その後自動合成して1枚の画像にする機能です。他の人に撮影を頼むことができないときでも、全員揃って記念撮影できます。この機能はベストショットモード(57ページ)の中にあります。

• 1回目の撮影
撮影者以外を撮影する。

• 2回目の撮影
背景の重なり具合を確認しながら撮影者のみを撮影する。

• 合成

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で" BS ベストショット"を選び、【SET】を押します。

4. 【◀】【▶】で"カップリングショット"のシーンを選び、【SET】を押します。

5. 最初に【液晶モニター】で【フォーカスフレーム】を左側部分の被写体に合わせます。

- カップリングショットでは、"AFエリア"（50ページ）が自動的に"スポット"になります。

【フォーカスフレーム】

6. 【シャッター】を押して、左側部分を撮影します。

- この撮影で下記の情報が固定されます。
  フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ

7. 次に、【液晶モニター】上で半透明で表示されている左側部分と、現在の背景を正しく重なるようにフレームを合わせます。

- 【MENU】を押すと、この撮影をキャンセルし、操作5に戻ることができます。

半透明の画像

8. 【シャッター】を押して、 右側部分を撮影します。

重要! • カップリングショットでは、撮影時に内蔵メモリーまたはメモリーカードのどちらか使用している方のメモリーを一時的に使用します。メモリーの容量が残り少ないと、撮影中にエラー表示が出ることがあります。その場合は不要な画像を消去してから再度撮影してください。

好みの構図で記念撮影をする（プリショット）

プリショット機能は人に撮影を依頼するときに便利な機能です。この機能では一度の撮影で2回の撮影を行います。1回目の撮影で撮影画像を半透明の状態で【液晶モニター】上に表示し、2回目では表示されている半透明の画像を目安に最終的な撮影を行います。2回目に撮影した画像が記録されます。この機能はベストショットモード（57ページ）の中にあります。

• 好みの構図を自分で撮影

• 構図に合わせて他の人に撮影してもらう

• 2回目のみの画像が記録される

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で" BS ベストショット"を選び、【SET】を押します。

4. 【◀】【▶】で"プリショット"のシーンを選び、【SET】を押します。

5. 最初に仮撮影を行います。

- この操作で撮影した画像は操作6で半透明で表示されますが、最終的にはカメラに保存されません。
- この撮影で下記の情報が固定されます。
  フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ

6. 次に、【液晶モニター】上で半透明で表示されている背景と、現在の背景を正しく重なるようにフレームを合わせます。

- 【MENU】を押すと、この撮影をキャンセルし、操作5に戻ることができます。

半透明の画像

7. 撮影します。

- この操作で撮影した画像がカメラに保存されます。

動画を撮影する（ムービーモード）

メモリー容量いっぱいに音声つき動画を撮影することができます。

● ファイル形式：AVI形式
AVI形式は、Open DML グループが提唱したMotion JPEGフォーマットに準拠しています。

● 画像サイズ：320×240pixels

● 動画ファイルサイズ：約300KB/秒

● 撮影可能なムービーの時間：
• 一度に撮影可能な最長時間：メモリー容量による

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で" ムービー"を選び、【SET】を押します。

残り撮影時間

撮影時間

4. 撮影する被写体にカメラを向け、【シャッター】を押します。

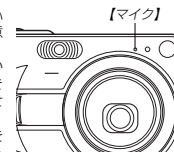
- 残りのメモリーいっぱいに、動画撮影が続きます。
- 動画撮影中は【液晶モニター】に"残り撮影時間"を表示します。
- ムービーモードではモードメモリ（72ページ）の"フォーカス方式"の設定にかかわらず、フォーカスモードが自動的にパンフォーカス（51ページ）になります。撮影前であれば、他のフォーカスモードに切り替えることができます。

ムービー録画中

- 動画撮影中は光学ズームは動作しません。デジタルズームのみ使用できます。【シャッター】を押す前ですと、光学ズームは使用できます。
- 動画撮影を途中で終了させたいときは、もう一度【シャッター】を押してください。

5. 動画撮影が終了したら、動画ファイルがカメラのメモリーに保存されます。

重要! • フラッシュは発光しません。
• 本機では音声も同時に記録されますので、次の点に注意してください。
– 指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。
– 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
– 撮影中にボタン操作をすると、操作音が入ることがあります。
– 音声はモノラルで録音されます。
– ムービーモードに切り替えると、モードメモリ（72ページ）の"フォーカス方式"の設定にかかわらず、自動的にフォーカスモードがパンフォーカス（51ページ）になります。

【マイク】

– フォーカスモード(48ページ)をオートフォーカスモードかマクロモード(🌷)にすると、自動的にピント調整を行います。その際に「カタカタ」という動作音が入ります。ピント調整音が気になる場合は、パンフォーカスのまま撮影するか、あらかじめマニュアルフォーカスモード(MF)にてピントを調整したうえ、撮影することをおすすめします。
– フォーカスモードをパンフォーカスモード(PF)、マニュアルフォーカスモード(MF)、無限遠モード(∞)にすると「カタカタ」という動作音は入りません。ただし、マニュアルフォーカスモードでは撮影中のピント調整ができなくなりますので、撮影前にピントを合わせてください。
– 使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、コマ落ちする場合があります。このとき、と が点滅します。

音声を記録する

画像に音声を加えて記録する（音声付き静止画撮影モード）

画像撮影後に、音声を録音することができます。

●画像形式：JPEG形式
画像を効率よく圧縮するための画像フォーマットです。
拡張子は".JPG"となります。

●録音形式：WAVE/ADPCM記録形式
音声を録音するためのWindows標準フォーマットです。
拡張子は".WAV"となります。

●録音時間：1画像につき最長約30秒間

●音声ファイルサイズ：
約120KB(約4KB／秒で30秒間録音時)

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で" 静止画＋音"を選び、【SET】を押します。
- 音声付き静止画撮影モードになります。

4. 【シャッター】を押して、画像を撮影します。
- 画像を撮影した後、音声録音スタンバイ状態になります(今、撮影した画像が表示されます)。
- 音声録音スタンバイ状態で【MENU】を押すと、音声録音を解除することができます。

録音可能時間

5. 【シャッター】を押して、音声を録音します。
- 録音中は緑色の【動作確認用ランプ】が点滅します。
- 【DISP】を押して【液晶モニター】をオフに設定しても、音声録音時には【液晶モニター】は点灯します。

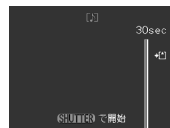
6. 【シャッター】を押すか約30秒経つと録音を終了します。

音声のみ記録する（ボイスレコードモード）

音声のみを録音することができます。

●録音形式：WAVE/ADPCM記録形式
音声を録音するためのWindows標準フォーマットです。
拡張子は".WAV"となります。

●録音時間：内蔵メモリー使用時で最長約40分

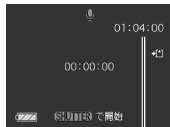
●音声ファイルサイズ：
約120KB(約4KB／秒で30秒間録音時)

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で" ボイスレコード"を選び、【SET】を押します。
- ボイスレコードモードになります。

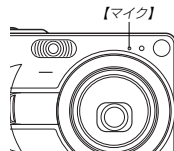
録音可能時間

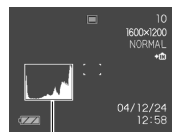
4. 【シャッター】を押して、音声を録音します。
- 録音中は【液晶モニター】に"録音時間"を表示します。また、緑色の【動作確認用ランプ】が点滅します。
- 録音中に【DISP】を押すと、【液晶モニター】が消灯します。
- 録音中に【SET】を押すと、録音位置を記憶したマークを付けることができます。

5. 【シャッター】を押すかメモリーが一杯になるか、または電池が消耗すると録音を終了し、音声を記録します。

参考 • 【DISP】を押しながら、【電源ボタン】または【📷】(REC)を押すと、レンズを繰り出さずにボイスレコードモードで起動します。

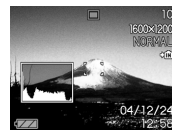
■ 音声記録時のご注意

- カメラ前面部にある【マイク】を必ず対象に向けてください。
- 指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。

- 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- 録音中にボタン操作をすると、操作音が入ることがあります。
- 録音中に【電源ボタン】を押したり【▶】(PLAY)を押すと、録音は中止となり、その時点までの音声が記録されます。
- 撮影済みの静止画像に、後から音声を追加(アフターレコーディング機能)することができます。また、録音済みの音声を記録し直すこともできます(86ページ)。

ヒストグラムを活用する

【DISP】を押して【液晶モニター】上にヒストグラムを表示させることにより、露出(光の量や明るさ)をチェックしながら撮影することができます(23ページ)。再生モードでは撮影された画像のヒストグラムを見ることができます。

ヒストグラム

ヒストグラム(輝度成分分布表)とは、画像の明るさのレベルをピクセル数によりグラフ化したものです。縦軸がピクセル数、横軸が明るさを表します。ヒストグラムを見ると、補正するために充分な画像のディテールが画像のシャドウ(左側)、中間調(中央部分)、ハイライト(右側)に含まれているかどうかを確認することができます。もしもヒストグラムが片寄っていた場合は、EVシフト(露出補正)を行うと、ヒストグラムを左右に移動させることができます。なるべくグラフが中央に寄るように補正をすることによって、適正露出に近づけることができます。

- ヒストグラムが左の方に寄っている場合は、暗いピクセルが多いことを示しています。
全体的に暗い画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり左に寄り過ぎていると、黒つぶれを起こしている可能性もあります。

- ヒストグラムが右の方に寄っている場合は、明るいピクセルが多いことを示しています。
全体的に明るい画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり右に寄り過ぎていると、白飛びを起こしている可能性もあります。

- ヒストグラムが中央に寄っている場合、明るいピクセルから暗いピクセルまで適度に分布していることを示しています。
全体的に適度な明るさの画像はこのようなヒストグラムになります。

重要!
- 前記のヒストグラムはあくまでも例であり、被写体によってはヒストグラムの形が例のようにならない場合もあります。
- 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もあるので、必ずしも中央に寄ったヒストグラムが適正となる訳ではありません。
- 露出補正には限界がありますので、調整しきれない場合があります。
- フラッシュ撮影による撮影など、撮影したときの状況によっては、ヒストグラムによりチェックした露出とは異なる露出で撮影される場合があります。
- カップリングショット撮影時(60ページ)、プリショット撮影時(62ページ)は、ヒストグラムは表示されません。

各種機能を設定する

RECモードにおいて、下記の機能を設定することができます。

- ISO感度
- グリッド表示のオン／オフ
- 撮影レビュー
- 左右キー設定
- 各種設定の記憶(モードメモリ)
- 各種設定のリセット

参考
- 上記以外に、次の機能も変更できます。操作方法については各ページをご覧ください。
  - サイズ(46ページ)
  - 画質(47ページ)
  - ホワイトバランス(55ページ)
  - デジタルズーム(41ページ)
  - AFエリア(50ページ)
  - オートPF(49ページ)

ISO感度を変える

暗い場所で撮影するときやシャッター速度を速くしたいとき、ISO感度が変更できます。使用目的に応じてISO感度を設定してください。

- ISO感度とは、光に対する感度をISO(写真フィルムの感度単位)の数値で表したものです。数値が大きいほど感度が高くなり、暗い場所での撮影に強くなります。

1. **RECモードにして【MENU】を押します。**

2. **"撮影設定"タブ→"ISO 感度"と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。**

- EX-Z30の場合

感度が低い	ISO 50	：ISO 50相当
↕	ISO 100	：ISO 100相当
	ISO 200	：ISO 200相当
感度が高い	ISO 400	：ISO 400相当
	オート	：撮影条件により自動調整します。

- EX-Z40の場合

感度が低い	ISO 50	：ISO 50相当
↕	ISO 100	：ISO 100相当
	ISO 200	：ISO 200相当
感度が高い	ISO 400	：ISO 400相当
	オート	：撮影条件により自動調整します。

重要!
- 同じ撮影条件下でISO感度を上げるとシャッター速度は早くなりますが、画像のノイズが増加しますので、きれいに撮りたいときはなるべくISO感度を下げてください。
- ISO感度を上げてフラッシュ撮影すると、近くの被写体の明るさが適正にならない場合があります。

参考
- キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】でISO感度が変更できるように切り替えられます(71ページ)。

グリッドを表示する

撮影時、【液晶モニター】に方眼を表示します。カメラを水平や垂直に保つのに便利です。

1. **RECモードにして【MENU】を押します。**

2. **"撮影設定"タブ→"グリッド表示"と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。**

入：グリッドを表示します。
切：グリッドは表示しません。

撮影した画像を確認する(撮影レビュー)

撮影した直後に【液晶モニター】で撮影した画像を確認することができます。

1. **RECモードにして【MENU】を押します。**

2. **"撮影設定"タブ→"撮影レビュー"と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で設定項目を選び、【SET】を押します。**

入：撮影直後に【液晶モニター】に撮影した画像が約1秒間表示されます。
切：撮影した画像は表示されません。

左右キーに機能を割り当てる(キーカスタマイズ)

【◀】【▶】に、5つの中のどれか1つの機能の操作に割り当てることにより、操作しやすくすることができます。

1. **RECモードにして【MENU】を押します。**

2. **"撮影設定"タブ→"左右キー設定"と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。**

- 【◀】【▶】で設定した機能が操作できるようになります。

撮影モード	：撮影モード(静止画／ベストショット／ムービー／音声付静止画／ボイスレコード)が変更できます(147ページ)。
EVシフト	：露出値(EV値)が補正できます(54ページ)。
ホワイトバランス	：ホワイトバランスが変更できます(55ページ)。
ISO感度	：ISO感度の変更ができます(70ページ)。
セルフタイマー	：セルフタイマーの設定ができます(45ページ)。
切	：【◀】【▶】に操作を割り当てません。

参考
- 初期設定は"撮影モード"の操作となります。

各種設定を記憶させる(モードメモリ)

モードメモリとは、電源を切ったときでも直前の状態を記憶しておく機能です。電源の入／切で毎回設定をし直す手間がはぶけます。

●モードメモリで設定できる機能

撮影モード、フラッシュ、フォーカス方式、ホワイトバランス、ISO感度、AFエリア、デジタルズーム、MF位置、ズーム位置

1. **RECモードにして【MENU】を押します。**

2. **"モードメモリ"タブ→"設定したい機能"と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。**

入：電源を切ったときにその時点の設定を記憶します。
切：電源を切ったときに初期設定に戻ります。

機　能	入	切
撮影モード	最後のモード	静止画
フラッシュ		オート
フォーカス方式※1		オート
ホワイトバランス		オート
ISO感度		オート
AFエリア		スポット
デジタルズーム		入
MF位置		MFに切り替える前の位置
ズーム位置※2		ワイド端

※1 ムービーモードでは設定を記憶することができません。自動的にPF(パンフォーカス)に戻ります。
※2 ズーム位置では光学ズームの位置のみ記憶します。

重要!
- ベストショットモードでは、シーンの選択をしたり、電源のオン／オフを行うと、モードメモリが入／切のどちらに設定されていても、撮影設定(撮影モード、ズーム位置以外)は各シーンの初期設定値となります。
- ムービーモードでは、モードメモリの入／切の設定に関わらず、フラッシュは常に発光禁止に設定されます。

各種設定をリセットする

本機の設定内容を初期値に戻すことができます。初期値については「メニュー一覧表」（147ページ）をご覧ください。

1. RECモードまたはPLAYモードで【MENU】を押します。

2. “設定”タブ→“リセット”を選び【▶】を押します。

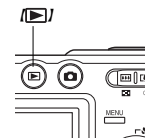
3. “リセット”を選び【SET】を押します。
- リセットしない場合は“キャンセル”を選びます。

再生する

本機は【液晶モニター】を備えていますので、記録されているファイルを本機だけで確認することができます。

基本的な再生のしかた

記録されているファイルを順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1. 【▶】（PLAY）を押します。
- PLAYモードになり、再生できる状態になります。
- 【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。

2. 【◀】【▶】でファイルを見ていきます。

【▶】を押す：進みます。
【◀】を押す：戻ります。

参考
- 【◀】【▶】を押し続けると、ファイルは早送りされます。
- 初めに表示される画像は簡易画像のため、粗い表示になっていますが、すぐ後に精細な画像が表示されます。ただし、他のデジタルカメラからコピーした画像は、この限りではありません。

音声付き画像を再生する

音声付きの画像（♪が表示される画像）を見るときは、下記のように操作してください。

1. PLAYモードにして、【◀】【▶】で音声付き画像を表示させます。

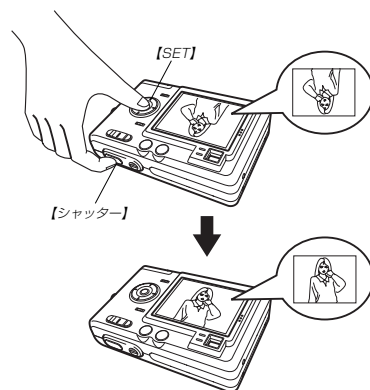
2. 【SET】を押します。
- 画像に録音された音声がスピーカーから再生されます。

- 音声再生中に、次のような操作ができます。

音声を早戻し／早送りする ....【◀】【▶】を押し続ける
再生と一時停止を切り替える ....【SET】を押す
音量を調整する ....【▲】【▼】を押す
再生を中断する ....【MENU】を押す

重要！ ● 音声付き画像の音量調整は、再生／一時停止中に可能です。

反転表示させる

表示している画像を180°反転させることができます。画像を対面の人に見せるときなどに便利です。

1. PLAYモードにして【◀】【▶】で画像を表示させます。

2. 【シャッター】を押したまま【SET】を押します。
- 画像が180°反転します。このときは情報表示やヒストグラム等の表示は消え、画像のみの表示となります。
- 【◀】【▶】で画像の送り、戻しができます。

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】以外のボタンを押すと、元の状態に戻ります。

重要！
- 反転表示中は、【◀】【▶】を押しても、動画、ボイスレコードファイル画像は表示されません。
- 拡大表示、カレンダー表示、9画面表示、動画、音声付き画像、ボイスレコードファイル画像を表示中は、反転表示できません。

画像を拡大して表示する

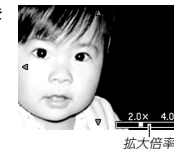
撮影した画像を4倍まで拡大して表示させることができます。

1. PLAYモードにして、【◀】【▶】で拡大したい画像を表示させます。

2. 【ズームボタン】の“🔍”側を押して拡大します。
- 【液晶モニター】に現在の倍率が表示されます。
- 【DISP】を押すと倍率などの表示のオン／オフができます。

拡大倍率

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で拡大した画像を上下左右にスクロールすることができます。

4. 【MENU】を押すと、画像は元の大きさに戻ります。

重要！
- 動画は拡大表示できません。
- 画像のサイズにより、4倍までの拡大表示ができない画像があります。

画像サイズを変える（リサイズ）

撮影した静止画像のサイズを、次の2種類のサイズに変えることができます。

1280×960pixelsのSXGAサイズ
640×480pixelsのVGAサイズ

- VGAサイズの画像は、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像に最適です。

1. **PLAYモードにして【MENU】を押します。**

2. **“再生機能”タブ→“リサイズ”と選び、【▶】を押します。**

3. **【◀】【▶】でサイズを変えたい画像を表示させます。**

4. **【▲】【▼】でリサイズ内容を選び、【SET】を押します。**

1280×960 ：1280×960pixelsのSXGAサイズに変えます。
640×480 ：640×480pixelsのVGAサイズに変えます。
キャンセル ：リサイズを中止します。

重要！
- リサイズした画像は、リサイズする前の画像とは別に最新ファイルとして保存されます。
- 画像サイズが640×480pixels以下の画像はリサイズできません。
- 画像サイズが2048×1360（3:2）pixels（EX-Z30）や2304×1536（3:2）pixels（EX-Z40）の画像はリサイズできません。
- このカメラで撮影した画像以外の画像は、リサイズできません。
- “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、リサイズできません。
- リサイズした画像を保存できるだけメモリー容量が残っていない場合は、リサイズできません。
- リサイズした画像をカメラで表示した場合、日付はリサイズした日付ではなく、撮影した日付が表示されます。

画像の一部を切り抜く（トリミング）

拡大した画像から必要な箇所を切り抜いて、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像などの構図を整えることができます。

1. **PLAYモードにして、【◀】【▶】でトリミングしたい画像を表示させます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **“再生機能”タブ→“トリミング”と選び、【▶】を押します。**
- 画面に画像を切り抜くための枠が表示されます。

4. **【ズームボタン】を押して、枠の拡大／縮小をします。**
- 表示されている画像のサイズによって、トリミングできる枠の大きさが変わります。

5. **【▲】【▼】【◀】【▶】で切り抜きたい部分を枠で囲みます。**

6. **【SET】を押します。**
- トリミングを中止する場合は【MENU】を押します。

重要！
- トリミングした画像は最新ファイルとして保存されます。
- 画像サイズが小さいほどトリミングできる枠の大きさが限定されます。
- 画像サイズが640×480pixelsの画像では、枠は拡大／縮小できません。
- トリミングしても、トリミングする前の画像は残っています。
- 画像サイズが2048×1360（3:2）pixels（EX-Z30）や2304×1536（3:2）pixels（EX-Z40）の画像はトリミングできません。
- 動画、ボイスレコードファイル画像はトリミングできません。
- このカメラで撮影した画像以外の画像は、トリミングできません。
- “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、トリミングできません。
- トリミングした画像を保存できるメモリー容量が残っていない場合は、トリミングできません。
- トリミングした画像をカメラで表示した場合、日付はトリミングした日付ではなく、撮影した日付が表示されます。

動画を再生する

ムービーモードで撮影した動画を再生することができます。

1. **PLAYモードにして、【◀】【▶】で再生したい動画を表示させます。**

動画アイコン

2. **【SET】を押します。**
- 動画が再生されます。
- 動画再生中に、次のような操作ができます。
  早戻し／早送りする .... 【◀】【▶】を押し続ける
  再生と一時停止を切り替える ...... 【SET】を押す
  一時停止中にコマ送りする .... 【◀】【▶】を押す
  再生を中断する .... 【MENU】を押す
  音量を調整する .... 【▲】【▼】を押す

重要！
- 動画を連続して再生することはできません。再度再生したいときは、もう一度、上の操作を行ってください。
- 音声も同時に再生されますので、次の点に注意してください。
  － 動画の音量調整は、再生／一時停止中に可能です。

1つの画面に9つの画像を表示する

撮影した内容を9つまで同時に一覧表示させることができます。

1. **PLAYモードにします。**

2. **【ズームボタン】の“▦”側を押します。**
- 9つの画像が表示され、最初に表示されていた画像は、枠が付いた状態で中央に表示されます。
- 画像の総数が9枚以下の場合は、左上から順に画像が表示されます。枠は1枚目の画像に付きます。
- 【◀】または【▶】を押して、枠が画面の左端、または右端まで行くと、次の9枚を表示します。
- ボイスレコードファイル画像（87ページ）にはが表示されます。

例：画像の総数が20枚で、1番目の画像を最初に表示していた場合

17	18	19
20	1	2
3	4	5

→ ←

6	7	8
9	10	11
12	13	14

→ ←

15	16	17
18	19	20
1	2	3

3. **【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を見ていきます。**

4. **【▲】【▼】【◀】【▶】以外のボタンを押すと9画面表示は終了します。**

目当ての画像を素早く表示する

1. **9画面表示に切り替えます。**

2. **【▲】【▼】【◀】【▶】で目当ての画像に枠を移動します。**

枠

3. **【▲】【▼】【◀】【▶】以外のボタンを押します。**
- 目当ての画像が1枚で表示されます。

カレンダー表示をする

1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に撮影した最初の画像を表示させることができ、見たい画像を素早く探すことができます。

1. **PLAYモードにして【▲】（）を押します。**

2. **【▲】【▼】【◀】【▶】で目当ての画像に枠を移動します。**
- 年／月の表示は“表示スタイル”の設定（100ページ）に従って表示されます。
- 各日付上にその日に撮影した最初の画像が表示されます。

枠　年／月

- 枠が上端にあるとき【▲】を押すと前の月の画面に移ります。
- 枠が下端にあるとき【▼】を押すと次の月の画面に移ります。
- カレンダー表示を終えるには【MENU】または【DISP】を押します。
- ボイスレコードファイル画像（87ページ）にはが表示されます。
- このカメラで表示できないデータの場合はが表示されます。

3. **見たい画像に枠を移動させたら、【SET】を押します。**
- その日に撮影した最初の画像が表示されます。